

4/20 子ども読書の日

毎年4月23日は、子どもたちに本をたくさん読んでほしいと定められた「子ども読書の日」です。緑小学校では、4月20日の朝の時間を使って、「子ども読書の日」にちなんだテレビ放送を行いました。

今年度から、緑小学校の図書室のことを「学校図書館」と呼ぶことにしています。これは、「読書センター」だけでなく、「情報・学習センター」としての役割も果たす場所として、さらに多岐に渡って学習を支えていく場所として活用するためです。図書館を利用するにあたり、いろいろな約束、借り方や返し方を図書委員会の児童が紹介してくれました。

また、校長先生・副校長先生のおすすめの本、学校司書 須田先生のブックトークによる本の紹介があり、読書のきっかけとしてもらえたらと考えています。ぜひご家庭でも、市立図書館や書店に足を運び、お気に入りの本を見つけてみてください。

寺澤校長先生 おすすめの本
『ピーターラビットのおはなし』



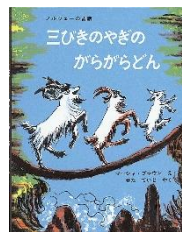
ビクトリクス・ポター さくえ 作・絵

いしい ももこ やく 訳

ふくいんかんしょてん
福音館書店

いたずらっ子のピーターが、自然豊かな農村で、はらはらドキドキの冒険を繰り広げます。美しい絵と文で、読むごとに心がほっ福田先生によるご指導

津守副校長先生 おすすめの本
『三ひきやぎのがらがらどん』



せた ていじ やく 訳

マーシャ・ブラウン え 絵

ふくいんかんしょてん
福音館書店

学級文庫に置いてあった本をよく休み時間に読んでいました。三匹目の大きいやぎのがらがらどんがトロールをやっつけるところがかっこいいと思ったのでしょうか。

放送以後、たくさんの児童の皆さんが、図書館や校長室に足を運び、本を手にとっていました。ゴールデンウィークも、ぜひたくさんのお本をご家族で読んでみてください。

